

レインデール・ドゥ・ハーン



オランダのエンジニアリング会社、スペインの AEPO と PROAZA に勤務後、1998 年からは INECO 社（運輸公共事業省傘下の国営企業）に勤務し、現在に至る。

土木技師として 30 年以上の経験を有し、橋梁及び構造物の検査、評価並びに診断を得意とする氏は、40 人以上から成る複数のチームを統括する傍ら、2010 年に、ESIC ビジネス・マーケティングスクールの修士課程（2 年）を修了した。橋梁検査等に関する技術会合における講師や多数の橋梁に関するワーキンググループへの参加などを行っている。

INECO 社では、構造物の評価や許容重量等に関する技術的助言の提供や高度に専門化されたチーム間の調整などを行っているほか、鉄道橋等の危険性評価手法の開発に積極的に取り組んでおり、現在、イノベーションプロジェクト長として、鉄道橋等の構造物検査におけるドローン活用に取り組んでいる。